

昭和電工株式会社 東長原事業所だより

事業所特別安全祈念日



海寶執行役員による特別講話

今年の行事では、事故直後に東長原事業所長に就任した海寶執行役員(保安対策委員長)から、当時の経験やグループ全社での労働災害や設備事故の事例を踏まえて、事業所の無事故を継続するために必要なことや事業所のあるべき姿とありたい姿、私達従業員に考え続けて欲しいことについての講話がありました。

また窪田事業所長からは東長原事業所の災害統計を踏まえた災害防止に向けた取り組みのポイントについて、加古生産技術GLからはホスゲン漏洩事故の原因・対策の振り返りと現在取り組んでいる本質安全化に向けた取り組みについての話があり、会場の記念館が満員になるほど詰めかけた約60名の受講者も熱心に聞き入り、あっという間に時間が過ぎました。

事故・災害の防止と安全文化醸成に向けた取り組みを継続することの大切さを改めて実感した一日となりました。



窪田事業所長挨拶



加古生産技術GLによる安全講話

東長原事業所では、2008年8月9日と11月15日に発生した二度のホスゲン漏洩事故の反省と教訓を風化させないよう8月9日を事業所特別安全祈念日と定め、毎年安全に関する様々な行事を行っています。

11年前の事故を繰り返さないために見直された安全思想や管理体制、事故後に実施してきた安全対策や導入した安全装置は今でも維持し続けていますが、現在の従業員の半数以上が事故を経験しておらず、今後もその割合は増え続けます。

納涼祭

8月2日、東長原事業所で毎年恒例の納涼祭を開催しました。納涼祭は、場内企業の従業員及び家族の懇親と、東長原8地区の地域の皆様とのコミュニケーションを目的としています。

まずは会津地方で活躍しているアマチュアバンド「ザ・ヤングビーツ」による、ノリのいいオープニングショーからスタートしました。



お笑いミニライブ

今年のメインのショーは、地元を中心に活躍しているコンビのお笑い芸人「パチッコリン」と「しなだマン」の3人によるお笑いミニライブで、テレビでよく見るおなじみの芸人さんの登場に、子供達がステージの前に沢山集まり、楽しそうな笑いが起こっていました。

梅雨明けから1週間が一番暑いと言われるそうですが、梅雨明け直後の開催となった当日も気温が36度を超えていました。エンディングの花火が終わるまで熱気が冷めやらない納涼祭となり、猛暑の中来場いただいた人数は1090名、飲料は1200本以上、飲み放題のビールも約500Lが消費され、暑さを物語る数字となりました。

今後も従業員や地域の方々楽しんでいただける内容で納涼祭を盛り上げていきます。



ザ・ヤングビーツ



屋台メニュー



暑くても盛り上がっています

アルミ缶リサイクル活動

東長原事業所では毎年、アルミ缶リサイクルのチャリティー収益金をもとにした物品寄贈を行っており、本年も2団体へ寄贈を行いました。

下郷作業所ホイップ様へは充電式噴霧器、業務用扇風機、湯沸かしポットを寄贈し、会津若松市社会福祉協議会河東支所様へは、ダイニングテーブル、傘立てを寄贈しました。

これらは、施設での農作物栽培やカフェ運営等にお使いいただく予定です。

物品の寄贈は今年で11回目となりました。毎年皆様に喜んでいただいていることを励みに、これからもアルミ缶を1つでも多く回収できるよう取り組んでいきます。



下郷作業所ホイップ様へ寄贈



社会福祉協議会での受納式